

質の高い公共デザインの枠組みと進め方に関する研究

Study on management scheme and project implementation for successful public design

(研究期間 平成 30～令和元年度)

社会資本マネジメント研究センター
Research Center for
Infrastructure Management
緑化生態研究室
Landscape and Ecology Division

室長
Head
部外研究員
Visiting Researcher

舟久保 敏
Satoshi FUNAKUBO
西村 亮彦
Akihiko NISHIMURA

This study aims to figure out key points for successful design management of public works. In the first year, the authors collect information on 20 domestic design management schemes, which are classified into 5 groups according to their management process. In order to establish criteria to evaluate spatial design, process design and program design of public works, the authors also carry out analysis on 22 case studies of public design project. According to its results, the authors propose a set of criteria which corresponds to different types of problems to be solved by public design.

[研究目的及び経緯]

平成 17 年の景観法の施行以降、良好な景観の保全・形成が地方自治体の基本施策として定着してきた。一方、公共施設や公共空間の計画・設計において、事業効果を高める手段としてのデザインの重要性が適切かつ十分に理解されているとは言い難く、その質的向上が課題となっている。

このような状況の中、公共事業におけるデザインの質的向上を図る多様なデザイン行政の枠組みや、事業のトータルデザインを通じて、公共事業を地域の活性化やシビックプライドの醸成へと効果的に結びつける取組が、近年、全国各地でみられるようになってきた。

そこで、これらの事例も参照しながら、自治体の規模や地域の景観特性に応じたデザイン行政の枠組みの構築、及び公共事業の質を高めるトータルデザインの方策の提案に向けた調査研究に取り組んでいる。

[研究の内容]

平成 30 年度は、国内におけるデザイン行政の取組事例を 71 件収集し、デザイン行政の枠組みについて、デザイン調整のフローや組織体制・役割分担に基づく分類を行うとともに、各類型のメリット・デメリットを整理した。

この分類を参照しながら、今後デザイン行政の取組を促進していく上で参考になると考えられる国内外の取組事例を選定し、各取組の背景・経緯、組織体制・役割分担、運営スキーム、デザイン検討・調整のフロー、デザイン検討・調整を行う上での工夫、代表的な事業、取組による効果を調査した。

次に、公共施設及びその周辺環境の整備を通じた景観形成・地域づくりを進めるにあたり、空間デザインのみならず、プロセスデザイン（事業の進め方のデザイン）、プログラムデザイン（管理・運営方法のデザイン）を加えた包括的なデザインの取組を通じて、事業の質的担保を実現した取組事例を選定し、事業の概要とともに、デザイン上の工夫とその効果、実践上の課題等を整理した。

また、デザイン行政の現場に関わる学識経験者や行政職員、民間技術者、計 5 名を対象に意見聴取を行い、公共デザイン実践上の課題と留意事項を整理した。

[研究の成果]

1. デザイン行政の類型化・特徴整理

デザイン行政の枠組みについて、インハウス型、委員会型、アドバイザー型、アーバンデザインセンター型、外部委託型の 5 つに分類を行った（図-1）。

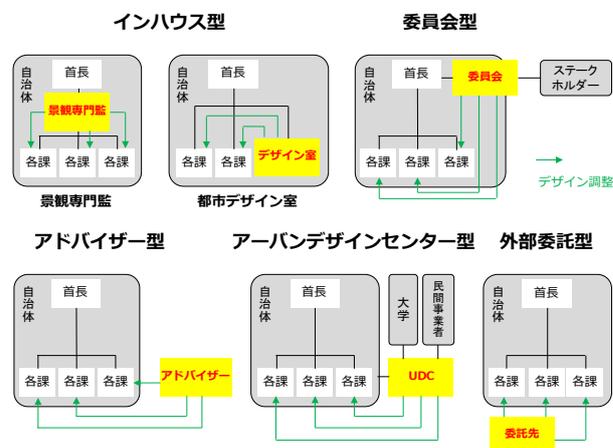


図-1 デザイン行政の枠組み類型

各類型の特徴については、庁内における人材確保・育成、継続的なデザイン検討の展開、日常的な制度の運用状況の改善、十分な事業予算の確保、適切な発注方式の選定、調整事項の実効性の担保、デザインの統合性の確保等、公共デザインを実践する上での一般的な課題にどの程度対応しているのか、メリット・デメリットを明らかにした。

2. デザイン行政のケーススタディ

デザイン行政の取組について、1.で整理した各類型の代表的な事例をはじめとする国内20件、今後の参考となる海外5件の事例を選定（表-1）し、文献調査や関係者に対するヒアリングに基づいて、各取組の概要を事例シート形式で整理した。

海外事例については、フランスにおけるコミュニケーションを単位とした地区レベルの詳細かつ実効性の高いマスタープランに基づくまちづくりの取組や、ドイツにおけるBIDの仕組みを活用したエリアマネジメントに基づく公共空間整備の取組など、国内では見られない特徴的な取組が見られた。

類型	No.	取組名称	取組主体
インハウス型	1	横浜市都市デザイン室	横浜市
	2	長崎市景観専門監	長崎市
委員会型	3	女川町復興まちづくりデザイン会議	女川町
	4	大槌デザイン会議	大槌町
	5	山中湖村デザイン戦略会議	山中湖村
	6	奈良町グランドデザイン	奈良市
	7	熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議等	熊本市
	8	奈良市景観審議会	奈良市
	9	京都市美観風致審議会・景観デザインレビュー制度・優良デザイン促進制度	京都市
アドバイザー型	10	長崎県美しい景観形成アドバイザー	長崎県
	11	山口県景観アドバイザー制度	山口県
	12	佐賀県美しい景観づくりアドバイザー制度	佐賀県
	13	なら・まちづくりコンシェルジュ	奈良県
	14	関西道路研究会	関西地方の市町村
アーバンデザインセンター型	15	ぐんま景観形成モデル事業	群馬県
	16	松山アーバンデザインセンター	松山市
	17	アーバンデザインセンター大宮	大宮市
外部委託型	18	信州地域デザインセンター（仮称）	長野県
	19	平泉中尊寺通り道路デザイン検討会	平泉町
	20	あそべるとよた推進協議会	豊田市
	21	Room for the River	オランダ
	22	パブリックデザインコミッション	ニューヨーク市
	23	コミュニケーションによるまちづくり	フランス
	24	Rebuild by Design	ニューヨーク市
海外事例	25	BIDに基づくエリアマネジメント	ドイツ

表-1 調査対象となるデザイン行政の事例一覧

3. 公共デザインのケーススタディ

公共デザインの取組について、2.で整理したデザイン行政の取組に基づくものをはじめ、今後の参考となる22件の事例（表-2）を選定した。各事例について、文献調査や関係者に対するヒアリングに基づいて、施設の基本情報、事業の経緯、整備内容、組織体制、発注方式、設計仕様、関連事業、上位計画、事業効果、事業の質を担保する工夫とその効果、実践上の課題等、

詳細な情報をシート形式で整理した。

No.	事業名称	事業主体	竣工	施設種別
1	グランモール公園	横浜市	2017	公園
2	出島表門橋及び中島川公園	長崎市	2017	橋梁・公園
3	女川レンガみち周辺地区	女川町・UR	2015	道路
4	大槌町中央公民館吉里吉里分館	大槌町	2018	建築物・広場
5	山中湖村「ゆいの広場ひらり」	山中湖村	2018	建築物・広場
6	奈良町多世代交流広場	奈良市	2019	建築物・広場
7	（仮称）花畑広場	熊本市	2015	広場
8	県立佐賀城公園リノベーション ころざしのもり	佐賀県	2018	公園
9	花園町通り	松山市	2017	道路
10	OM TERRACE	さいたま市	2017	建築物
11	中尊寺通り	岩手県	事業中	道路
12	あそべるとよたプロジェクト	豊田市	事業中	広場
13	福山市本通・船町商店街アーケード改修プロジェクト	福山本通商店街復興組合 福山本通船町商店街復興組合 福山市	2016	道路
14	富山グランドプラザ	富山市	2009	広場
15	上西郷川 里川の再生	福津市	2015	河川・調整池
16	柏の葉アクアテラス	千葉県・柏市・三井不動産	2016	調整池
17	木津川遊歩空間 トコトコダンダン	大阪府	2017	河川
18	新川千本桜沿川地区	江戸川区	2015	河川
19	糸賀川清流平和公園の水辺	北方町・岐阜県	2015	河川・公園
20	警固公園	福岡市	2012	公園
21	南池袋公園	豊島区	2016	公園
22	渋谷ストリーム	東急電鉄	2018	河川

表-2 調査対象となる公共デザインの取組事例

4. 有識者に対するヒアリング

3.で整理した公共デザインの取組事例の横断的なレビュー、及び有識者に対するヒアリングの結果、公共デザインを実践する上での主な課題として、表-3に示す13項目を抽出した。

プロセス デザイン	行政職員の教育、ノウハウの継承
	デザインの質を担保できる有識者の確保
	庁内の段階的な説明のフォロー
空間 デザイン	縦割りを越えた統合性の確保
	小規模事業のフォロー
	適切な発注・契約方式の採用
プログラム デザイン	地域の課題やビジョンの明確化
	複数施設・事業の包括的なデザイン
	管理・運営を想定した計画・設計
空間 デザイン	施工時に至る関係者の継続的な関与
	管理・運営に係る財源の確保
	管理・運営時に至る取組体制の維持
プログラム デザイン	地域による適切な管理・運営

表-3 公共デザイン実践上の主な課題

【成果の活用】

令和元年度は、今年度調査を実施した公共デザインの取組事例22件について、事業の検討・実施プロセスで発生した課題と課題解決の方法に係るヒアリングを実施した上で、各事例で培われたアイデア・ノウハウの共有を図るため、その結果をベストプラクティス形式の資料として整理する予定である。

また、平成30年度に続き、有識者に対するヒアリングを行い、デザイン行政及び公共デザインを実践する上での課題を抽出し、デザイン行政の類型や事業の段階毎の留意事項を整理した手引き形式の資料をとりまとめる考えである。